～地域づくり～

浅江中学校「認知症の人への声かけ訓練」

平成 27 年 9 月 25 日、光市立浅江中学校で行われた上記訓練にお邪魔しました。

あさなえ高齢者（認知症）見守りネットワークが主催され、浅江中学3年生 118 名（16 グループ）が、声かけ訓練に参加されました。

生徒さんは、2年生の時に、認知症サポーター養成講座も受講。先週、9月18日には、「認知症の見守りとまちづくり」という講演も公聴されています。

訓練前講義、説明

模擬訓練開始

認知症を正しく理解し、温かく声かけをする模擬訓練で、近所の認知症のかたが、道が分からなくなり、中学校へ迷い込まれたという設定で行われました。認知症のかたと出会った時に、大人に正しく状況を伝える訓練も兼ねています。

・認知症高齢者役.・・キャラバンメイト他
・各グループにサポート役・・(保健師、介護施設職員他)
中学生が認知高齢者に声掛けする際のアドバイス
訓練後の各グループの意見交換の際の進役行やまとめ

～訓練終了後はグループで対応の仕方の振り返り～

中学生の振り返りを聞きながら認知症役の方が感想を話す。

16 グループの各班長からの感想

主な感想

・今日の体験を、実際に生かしたい

・目線を合わすことが大事

・どうしたらいいかを考えながら会話をすることが大切

山下会長からの講評

・「自分たちに何がとできるだろうか」と考えているあさなえジュニアは地域の宝物です。この訓練は絆の再構築である。（浅江中学ＨＰ：http://asae-j.hikari-net.ed.jp/　参照）

中学校の先生との会話から

・昨年この学年は 2 年生の時に認知症サポーター養成講座を受けて予備知識を持ち 3 年になってこの徘徊訓練に臨んでおり意識も高い。

・中学校で徘徊訓練をしようというきっかけは、認知症カフェのボランティアに参加していた中学校の先生と山下会長との想いが現実となったもの。（おれんじカフェえがお　http://fukushiwoshiyouyo.com/orangecafeegao.pdf　参照）

・中学校で認知症サポーター養成講座を開催したおかげで、実際に認知症高齢者の方が中学校に来られた時の対応が、教師もスムーズにできた。

　また、地域の介護施設の方との協力関係が構築できたことで、生徒の職場体験実習の受け入れもスムーズとなった。

声かけの方法

徘徊・行方不明になる認知症の人は、無目的に歩いているわけではありません。心の中では、

- 「ここがどこだかわからない」（場所がわからない）
- 「～がいない」と探している（人に対するエピソード記憶の低下）
- 「～をしなくてはいけない」と用件を思いつく（用件に対するエピソード記憶の低下）
- 現在いる場所が「居心地が悪い」と感じているなどがあります。

認知症のある方とのかかわりは、目的を解決するような関わりや、不安や不愉快を感じている場合もありますので、本人が安心できるような関わり方を心掛けましょう。

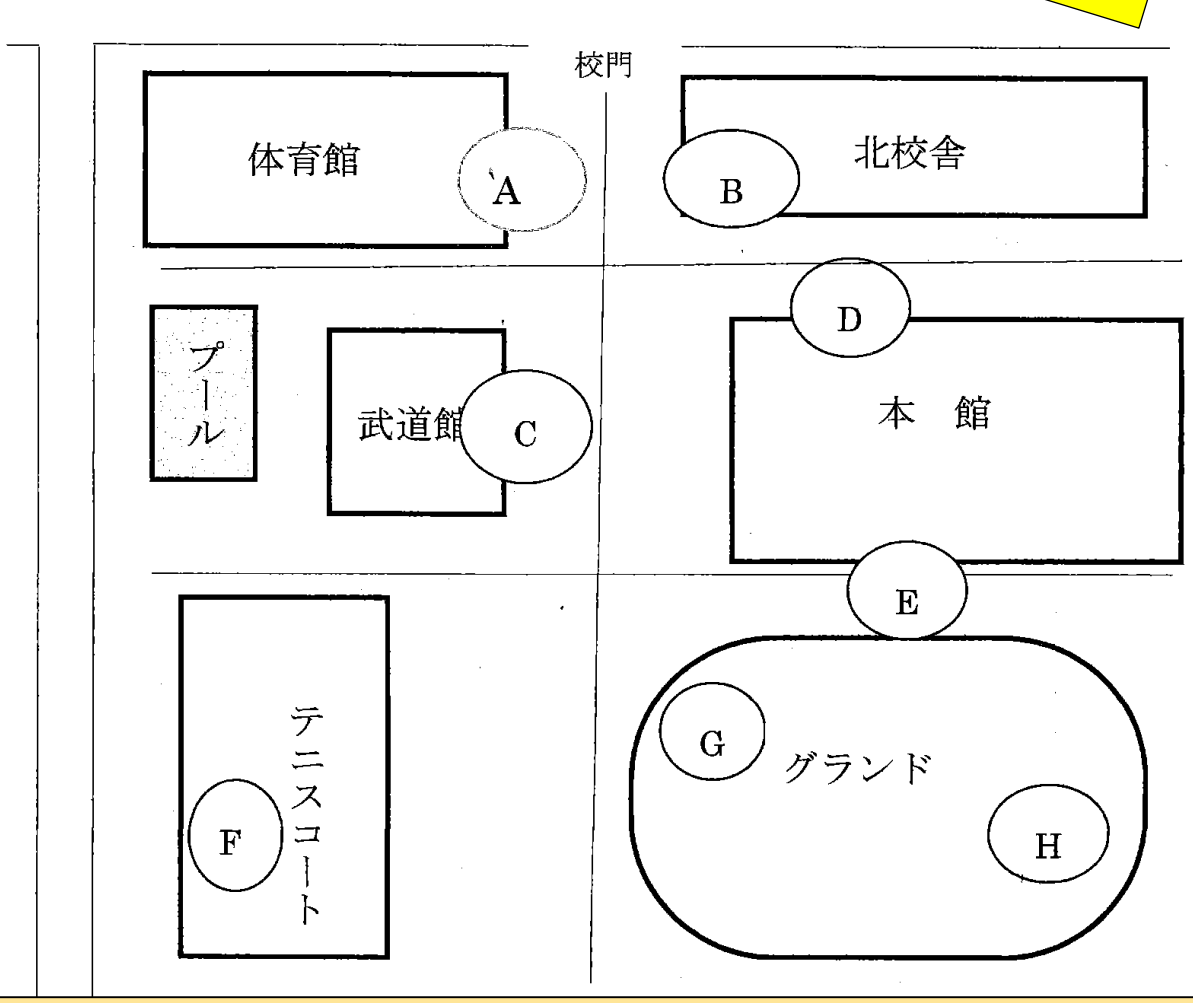
認知症の人への対応心得“３つの「ない」”
１驚かせない
２急がせない
３自尊心を傷つけない

気になる人への声のかけ方

① ゆっくり近づいて、相手の視野に入ってから、話しかける。急に後ろから声をかけたり、大声で話しかけない。
② 近づきすぎず、しかし目線を合わせ、ゆっくりと穏やかな口調で話しかける。
③ 声かけは「こんにちは」「お暑いですね」など、ごく普通のあいさつから。 笑顔で話しかける
④ 「どちらまで？」とか「どこへ行かれますか？」と、やさしく声かける。
⑤ 「何かお困りですか？」「大丈夫ですか？」「何かお手伝いしましょうか？」もいい質問。
⑥ わかりやすい簡潔な言葉で、一つずつ話しかける。返事がないからといって、矢継ぎ早に質問せずに、答えをゆっくり待つ。
⑦ 突拍子もない、不可解な言動をされても、慌てた反応をしないで、まずは落ち着いて。
⑧ 厳しい顔、困った腕組や上から見下すような目線、数人で取り囲む、急に腕を掴んだり、身体に触れないようにする。このような行動は警戒心を持たれます。
⑨ 少し一緒に歩きながら、「少し休んでいかれませんか？」「ちょっと腰をかけてひと休みしませんか？」などと声をかけてみる。
⑩ 声をかけてもうまくいかない場合は、いったん離れて間をおき、または近所の他の人に連絡して、助けを求める。
⑪ 本人情報をもっていたら、その情報（例：旧姓や出身地、なじみの場所等）を上手く使って、話しかける。
⑫ この土地の人なら、なじみの場所や土地の言葉を使う。

声かけチェックリスト

※「できなかったこと」や「できにくかったこと」が回数を重ねる毎に、少しずつ出来るようになります。焦らないで、自分の対応を振り返ってみましょう。	出来た	判らない	出来なかった
ゆっくり近づいて、相手の視野に入ってから、話しかけることができましたか。			
急に後ろから声をかけたり、大声で話しかけるなどはありませんでしたか。			
近づきすぎず、適当な間隔を保つことができましたか。			
目線を合わせ、ゆっくりと穏やかな口調で話しかけることができましたか。			
自分から声をかけることができましたか。			
ごく普通のあいさつから始め、自然な会話を心掛けることができましたか。			
声の大きさやトーンに気を付け、やさしく声かけることができましたか。			
わかりやすい簡潔な言葉で話しかけることができましたか。			
矢継ぎ早に質問せず、相手の反応を見て話しかけることができましたか。			
焦らず、答えをゆっくり待つことができましたか。			
複数の人数で取り囲んだり、急な動作で驚かせるようなことはありませんでしたか。			
声をかけてもうまくいかない場合、いったん離れて間を置くことができましたか。			
うまくいかない場合に近所の人等に連絡して、助けを求めるようにしましたか。			
土地の言葉を使う等、安心できる雰囲気作りや関わりができましたか。			

浅江中学校見取図

グループ分け